

第13回 無料プロバイダーを使ってみよう

▶ もう迷わない!

プロバイダー選び ここがチェックポイント!



電話代だけでインターネットができる無料プロバイダーは、テレビでもコマーシャルを流すなどして話題を集めています。無料プロバイダーの多くは、電話代無料というメリットと引き換えに広告表示やアンケート回答といった制約があります。今回はこうした無料プロバイダーを選ぶ際のポイントを紹介します。

▶ 無料プロバイダーは加入してから選ぼう

現在のところ、①の表のように8社が無料プロバイダーサービスを提供しています。各社とも、基本的には電話代だけでインターネット接続サービスを提供していますが、そのためにいろいろと制約もあります。

なかでも、一番の問題となるのはアクセスポイントです。現状ではアクセスポイントは東京や大阪といった都市部に限られているため、それ以外の地域に住んでいる場合には電話代が高くなってしまいます。全国均一料金のアクセスポイントを設置しているところもありますが、この場合でも電話代が1分10円程度と通常の電話代の3倍になり、結果的に割高です。こうした全国均一型のアクセスポイントは、あくまでも出張時などの緊急用と考えたほうがいいでしょう。

8社の中では、ZEROが130か所のアクセスポイントを持っており、かなりの地域で利用できます。ただし、ZEROは年額料金とし

て500円、月額料金も150時間以上の利用については200円/時間の従量課金となるなど、厳密には無料プロバイダーとは言えない面もあります。もっとも、月に150時間(1日平均5時間)も使う人はまれでしょうから、ほとんどの人にとっては事実上無料だと考えていいでしょう。また、次にアクセスポイントの多いShes.netも、入会できるのは女性に限られ、接続も朝の6時から夜の10時45分までに限定されます。

次に制約となるのは、広告表示と専用ソフトの問題です。ライブドアとfreejpn.comの場合には、接続は専用ソフトを起動する形になります。専用ソフトはウィンドウズとマッキントッシュの両方が用意されていますが、このためにダイヤルアップルーターからの接続はできません。それ以外のプロバイダーではダイヤルアップルーターでも問題ありませんが、FREECOMはウェブは必ずプロキシサ

ーバーを経由しなければならないという制約もあります。

しかし、こうした点を考慮しても、やはり無料で接続できるのは大きなメリットです。プロバイダーを選ぶ際にもっとも難しいのは、加入してみないとメールや個人ホームページ、スピードといった使い勝手がわからないという点にあります。しかし、無料プロバイダーの場合には料金のことは気にしなくてよいので、とりあえず加入して使ってみることができます。継続して使用するかどうかは、加入した後で決めればよいというわけです。アクセスポイント的に問題がないのであれば、すべての無料プロバイダーに加入してみて、それぞれの使い勝手を比較してみるのもいいでしょう。

まずは加入してから選ぶ、これが通常のプロバイダーにはない、無料プロバイダーを選ぶ際の重要なポイントです。

① 現在営業中の無料プロバイダー

プロバイダー名	URL	運営組織名	アクセスポイント	メール(容量)	ウェブ(容量)	制約
FREECOM	www.freecom.ne.jp	トライネットインターナショナル(株)	30か所	無料(10MB)	無料(50MB)	ウェブはプロキシを経由
freejpn.com	www.freejpn.com	(株)シークネット	3か所	無料(10MB)	開始予定	専用ソフトが必要
freeserve	www.freeserve.ne.jp	(株)フリーサーバ	11か所	無料(2MB)	なし	
Shes.net	www.shes.net	CSKネットワークシステムズ(株)	33か所	無料(10MB)	なし	女性限定、接続は6:00~22:45まで
ZERO	www.zero.ad.jp	ゼロ(株)	130か所	無料(2MB)	無料(5MB)	年額500円、月150時間以上は200円/時間
オーリック	www.auric.co.jp	オーリック・ウェブ・ジャパン(株)	3か所	年額2,000円(2MB)	開始予定	最初の30秒は指定のページ以外表示不可
ヨミウリ・フリーライン	www.yomiuri.co.jp/free/	読売新聞社	3か所	年額2,000円(2MB)	開始予定	最初の30秒は指定のページ以外表示不可
ライブドア	www.livedoor.com	(株)ライブドア	17か所	無料(10MB)	無料(50MB)	専用ソフトが必要

▶ 気になる広告の表示のされかた

各社に実際に接続してみた場合に、広告がどのように表示されるのかを一覧してみました。画面はダイヤルアップ直後のもので、サイズは800×600ドットです。各社とも、広告が表示される場合でもそれほど目障りではない程度となっていますが、広告の表示自体に時間がかかってしまい、そのためにスピードがやや低下するケースがありました。各社ともオンラインサインアップが可能なので、実際に加入したうえで、こうしたパフォーマンスなどもチェックしてみましょう。

FREECOM



専用のプロキシを経由するため、必ずブラウザ上部に広告が表示される。

freejpn.com



必ず最初にfreejpn.comのページが表示される。専用ソフトは設定でボタンを隠せばそれほど気にならない。

freeserve



広告表示はされず、一般のプロバイダーと同様に利用可能。

Shes.net



広告表示はされず、一般のプロバイダーと同様に利用可能。

ZERO



広告表示はされず、一般のプロバイダーと同様に利用可能。

オーリック



最初の30秒間、特定のページ以外は表示できない。15分おきに別ウィンドウで広告が表示される。

ヨミウリ・フリーライン



オーリックと同じシステムを使用しているため、制約も同様となる

ライブドア



専用ソフトにより画面上部に広告が表示される。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp